

日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会
第39号
2002年12月20日

日本看護歴史学会第十六回大会を終了して

平塚朝子 (山形県立保健医療大学)

山形としては、第十回大会以来二回目の開催となりました。ここ数年来の本学会の内容の広がりや深さと、歴史を学ぶ者の増加に目を見張る思いがしました。

今年度は会長の意向で、サブテーマを「現代の看護の源泉への探訪」とし、看護の先輩たちが成し遂げた看護改革・活動をとおして、社会から看護に期待されているもの、看護に何が求められているのかを再考する機会にしたいと考え、今大会を開催しました。

今大会には山形県立保健医療大学の廣井学長が参加され、インドのネールが獄中で娘に向けて、世界の歴史について書かれた手紙の一説「お前は覚えているだろう

か？凡人はいつも英雄であるとい

うわけにはいかない。毎日のパンやバターのこと、子供の世話、また暮らし向きのことなど、さまざま

な目標をつかみ、それに確信を持つようになる。たとえ単純な平凡な人たちでも英雄になり、歴史は動きはじめ大きな転機がやってくる。」を引用し、歴史を学ぶことが新しい明日への指標とのべていることを話され、そして今大会の学びが自己確立と看護学の発展につながることを期待したいとの、挨拶をいただきました。

特別講演では、ナイチンゲールの「看護覚え書」への情熱と題し

て草稿から未発表の第四版までの改定をとおして「看護覚え書」の日本への紹介、「看護覚え書」の各版の特徴について詳細な資料に基づき講演されました。ナイチンゲールが「看護覚え書」に情熱を注ぎ真剣に創作された作品であることがわかりました。

また、第二次世界大戦の看護改革推進者オルトを語ると題した講演では、オルトの看護思想形成に影響した要因・生い立ち、看護思想、看護政策との関係について聞くことができ、オルト少佐の人となりを知る機会となりました。GHQに関連する地方の発表があったのも特筆すべきことでした。

研究発表では、発表者と出席会員の活発な質疑応答、示唆に富む参考意見もあり、熱気に溢れ充実したものとなりました。

さらには、看護師の旅「ナイチンゲールの看護を訪ねて」は参考書では目にもふれることのできない貴重な一六二枚の写真が展示されました。これは、一九八九年〜一九九九年の間六回にわたり訪欧したもので、六回すべての写真撮影とその編集をした高田さんに、分科会のIでスライドを上映し報告していただきました。

分科会のIIは四分科会でそれぞれ

に活発な意見交換が行われましたが、分科会の報告の時間がとれなかったことを反省しております。

蛇足になりますが、山形の芋煮はいかがでしたでしょうか？遠くからご参会いただきました会員の皆様、ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

第一七回大会予告

来年は、青森で開催することになりました。多くの皆様のご発表とご参加をお待ちいたしております。

◆大会長

ライダー 島崎玲子

◆大会テーマ

看取りの文化 古代から現代へ

◆開催期日

平成一五年九月五日(金)
〜九月六日(土)

◆会場

青森県立保健大学

◆内容

特別講演一

松木明知弘「八甲田雪中行軍事件」特に第五連隊と第三二連隊による捜索活動について」
特別講演二

新村拓「看取りの文化とその歴

史・古代から現代までの介護の歴史」

パネルディスカッション

ライダー 島崎玲子他「占領軍GHQ公衆衛生福祉局の医療看護政策と現在への影響」

分科会

田中幸子「日本の看護に関する法律の変遷」

山本春江「史料の力と地域看護学概論に史料教材を用いて」

斉藤クニ「診療報酬の推移と看護の評価と県内医療機関(中小規模病院)における看護の変遷について」

瀧川薫他「男性の看護参画・看護士から看護師へ」専門職看護への道」

一般演題

第二次世界大戦後の看護改革推進者オルトを語る―看護改革にかけた情熱―



大石 杉 乃

連合軍最高司令官総司令部(以下、GHQ)公衆衛生福祉局看護課は五年九カ月の間に、保健婦助産婦看護婦法の制定、厚生省看護

写真展

◆研究発表の申し込み

演題締め切り

平成一五年三月七日(金)

演題申し込み方法

演題名と氏名、所属、会員番号、連絡先を記入した官製はがきにて申し込んでください。

抄録締め切り

平成一五年五月九日(金)

◆大会事務局

〒〇三〇一八五〇五

青森市大字間瀬五八一

青森県立保健大学内

日本看護歴史学会第一七回大会事務局

電話 〇一七・七六五・二〇五四

FAX 〇一七・七六五・二〇五五

(福井、秋庭)

GHQの文書をはじめとする当時の記録や関係者からの聞き取り調査をもとに、①オルトが最新の看護教育を受けていたこと、②進駐前に日本の医療や看護に関する知識を有してしたこと、③オルトの看護思想は看護の専門職化を目指すものであったこと、④実施された看護政策すべてが専門職の条件を満たすものであったことが明らかになった。

オルトの活動と看護改革にかけた情熱には、ミッシヨナリー、看護婦、軍人としての三つの側面があった。

ナインゲールの『看護覚え書』への情熱―草稿から未発表の第四版までの改訂をとおして―

平尾 真智子

一般的にナインゲールの『看護覚え書』には三種類あることが知られている。それらは「看護覚え書」(初版)、「改訂増補版看護覚え書」(第二版)、「労働者階級のための看護覚え書」(第三版)の三つである。筆者は一九九九年にイギリスの古書店からナインゲールの『看護覚え書』の草稿ともいえる小本を入手した。一九九



二年にはイギリスの文学者スクレトコーピッチ氏により、いわゆる第二版にその後加筆された追加分や一八七五年に執筆した三千語からなる未出版の原稿を適所に挿入し新たに編集された『看護覚え書』が出版されており、これらを加えると五種類の内容の異なった『看護覚え書』が現存することになる。これらの五つの『看護覚え書』の内容を比較した結果、草稿段階でナインゲールが強調したかったことは「すべての女性は看護婦であること」「医者任せにしないこと」であること、初版から第三版までは読者に合わせて文の構成や表現を推敲・熟考・再考・苦慮していること、未発表の文章の存在からは時代に合わせて常に内容の更新をしていく必要性を感じていたこと、などがわかった。五つの『看護覚え書』の存在を知り、それらの内容の比較を通して、『看護覚え書』は文字通りナインゲールを代表する作品であることが真に理解できたとともに彼女がこの作品に対する情熱を感じる事ができた。

二年にはイギリスの文学者スクレトコーピッチ氏により、いわゆる第二版にその後加筆された追加分や一八七五年に執筆した三千語からなる未出版の原稿を適所に挿入し新たに編集された『看護覚え書』が出版されており、これらを加えると五種類の内容の異なった『看護覚え書』が現存することになる。これらの五つの『看護覚え書』の内容を比較した結果、草稿段階でナインゲールが強調したかったことは「すべての女性は看護婦であること」「医者任せにしないこと」であること、初版から第三版までは読者に合わせて文の構成や表現を推敲・熟考・再考・苦慮していること、未発表の文章の存在からは時代に合わせて常に内容の更新をしていく必要性を感じていたこと、などがわかった。五つの『看護覚え書』の存在を知り、それらの内容の比較を通して、『看護覚え書』は文字通りナインゲールを代表する作品であることが真に理解できたとともに彼女がこの作品に対する情熱を感じる事ができた。

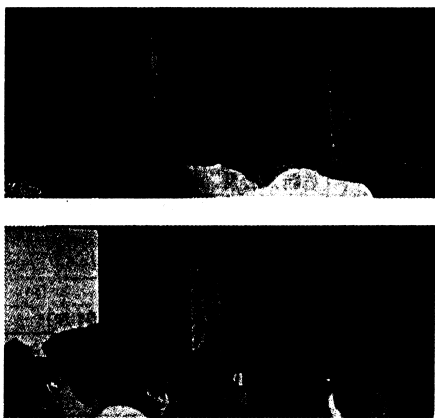
二年にはイギリスの文学者スクレトコーピッチ氏により、いわゆる第二版にその後加筆された追加分や一八七五年に執筆した三千語からなる未出版の原稿を適所に挿入し新たに編集された『看護覚え書』が出版されており、これらを加えると五種類の内容の異なった『看護覚え書』が現存することになる。これらの五つの『看護覚え書』の内容を比較した結果、草稿段階でナインゲールが強調したかったことは「すべての女性は看護婦であること」「医者任せにしないこと」であること、初版から第三版までは読者に合わせて文の構成や表現を推敲・熟考・再考・苦慮していること、未発表の文章の存在からは時代に合わせて常に内容の更新をしていく必要性を感じていたこと、などがわかった。五つの『看護覚え書』の存在を知り、それらの内容の比較を通して、『看護覚え書』は文字通りナインゲールを代表する作品であることが真に理解できたとともに彼女がこの作品に対する情熱を感じる事ができた。

〈一般演題〉

- 1 リンダ・リチャーズが京都看病婦学校ではじめた看護教育
「明治二〇年制定の「同志社病院看護婦学校規則」・「同志社病院規則」を中心に」
岡山寧子、竹中京子、依田和美
明治から第二次世界大戦前までの埼玉県における看護婦養成教育の発展過程一、設立者と財政、学生の給費生制度を中心に」
- 2 仲島愛子、高橋みや子
第二次世界大戦後の済生館における看護教育の歴史「甲種看護婦養成所の設立までの経緯」
- 3 鈴木由美子、大沼優子
高等学校衛生看護科の設立過程その一
- 4 村田三加幸、吉谷須磨子
宮城県における篤志看護婦人会活動の意義
- 5 小山田信子
沖縄における「Operation Rorence Nighingale」の実施計画について
- 6 仲里幸子、大嶺千枝子
第二次世界大戦後のGHQの指令による山形県における病院改革の実施過程
- 7 片桐智子、平塚朝子、高橋みや子

〈分科会〉

- ◆ 看護史の旅(写真展)「ナイチンゲールの看護を訪ねて」
高田みつ子
- ◆ 看護史の旅(写真展)「ナイチンゲールの看護を訪ねて」
高田みつ子、山田泰子
- ◆ 京都看病婦学校に関する資料についての検討「研究発表「リンダ・リチャーズが京都看病婦学校ではじめた看護教育」に関連して」
依田和美、岡山寧子、竹中京子
高等教育の制度的概念変化と看護教育
- ◆ 戦後日本の看護教育の成立「Tokyo Demonstration School」に焦点をあてて」
坪井良子、佐藤公美子、平尾真智子
- ◆ 玄田公子



リンダリチャーズの貴重な資料にふれて
竹中京子

日本看護歴史学会第16回大会収支決算報告

開催日 平成14年8月31日、9月1日

収入の部			
科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
大会参加費	400,000	383,000	4,000円×64人(事前振込分) 4,000円×30人(当日参加費) 1,000円×7人(学生、講演集のみ)
雑収入	100	3,930	その他
合計	400,100	386,930	

支出の部			
科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
報償費	82,000	82,020	講師謝金(2人×20,000) 会場使用謝礼22,020 15日会謝礼20,000
食料費	50,000	33,495	講師、幹事、協力員昼食代(29人×1150) および茶菓代
需用費	200,000	168,166	講演集・封筒印刷(155,925円)、 生花代(5,000)、用紙等消耗品他
役員費	50,000	55,580	郵送料(45,000)、電話代他 クリーニング代(4,500)
賞金	0	30,000	アルバイト(5,000×6人)
予備費	18,100	4,942	懇親会補填
合計	400,100	374,203	

収入 386,930円-支出 374,203円=残金 12,727円

なお、分科会1の話題提供者の高田みつ子さんから、講師謝金の辞退がありましたことを報告いたします。

平成14年9月9日 報告者 山形県立保健医療大学 平塚朝子

この分科会は、研究発表「リンダ・リチャーズが京都看病婦学校ではじめた看護教育」に関連した資料検討ということで、依田和美が話題提供した。

参加者は七名で、研究発表で紹介された「京都看病婦学校規則」と「同志社病院規則」の英文資料が追加配布され、その学校規則が設立認可申請の一ヶ月前の一八八七年六月に制定されたものであり、これは紛れもなく設立当初看病婦学校の看護監督であったリンダ・リチャーズの手になった貴重な資料であることを確認した。

その上で同じ時期に制定された「病院規則」とあわせて参照しながら、京都看病婦学校設立当初に計画された教育内容について参加者で検討した。

時間的制限で十分な意見交換に至れなかったのが残念であったが、京都看病婦学校における教育内容のより詳細な解明を目指して、来年の分科会にも継続して話題提供したいと思っている。

新入会員紹介(敬称略)

- 松岡 牧 (02-004) [東京女子医科大学看護学部]
- 鈴木由美子 (02-005) [山形市立病院済生館高等看護学院]
- 大沼優子 (02-006) [山形市立病院済生館高等看護学院]
- 齊藤訓子 (02-007) [日本看護協会企画室]
- 芳賀佐和子 (02-008) [東京慈恵会医科大学医学部看護学科]
- 小山敦代 (02-009) [青森県立保健大学]
- 齊藤順子 (02-010) [埼玉医科大学短期大学]
- 庄子幸恵 (02-011) [仙台大学]
- 小形利彦 (02-012) [日大山形高等学校]
- 武田洋子 (02-013) [山形大学医学部看護学科]
- 吉谷須磨子 (02-014)

計報

本学会特別会員大森文子氏が、十一月二十九日午前零時三一分、逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

日本看護歴史学会 2002年度予算

収入の部		'02.4.1~'03.3.31 (単位 円)	
項目	予算額	摘要	前年度決算額
会費	680,000	4,000×170名	728,000
寄付金・その他	40,000		43,901
前年度繰越金	1,138,720		1,008,373
合計	1,858,720		1,780,274

支出の部		'02.4.1~'03.3.31 (単位 円)	
項目	予算額	摘要	前年度決算額
幹事会開催費	500,000	年 3回 (1回/3年は新旧合同幹事会)*1	15,750
編集委員会開催費	100,000	年 4回	64,909
出版費	660,000		337,575
会報発行費	(60,000)	第38号 (02'7済)	(40,425)
学会誌発行費	(600,000)	第39号 (02'12) 第15号 (02'4済) 第16号	(297,150)
会員名簿作成費	0	(1回/3年)	25,200
事務経費	370,000		198,120
印刷費	(50,000)		(12,600)
通信費	(170,000)	会報 2回 学会誌 2回	(128,180)
文具・その他	(50,000)		(57,340)
人件費*2	(100,000)	アルバイト代テブおこし代含む	
予備費	228,720		0
合計	1,858,720		641,554

*1 02.4.20新旧合同幹事会(於東京)実施
*2 文具・その他の項目に入っていたが、新規で項目を設定

日本看護歴史学会 2001年度決算報告

収入の部		'01.4.1~'02.3.31 (単位 円)	
項目	予算額	決算額	差引額
会費	680,000	728,000 会員 167口 新入会員 15口	48,000
寄付金その他	0	43,901 会誌等売上(43,900) 利子 (1)	43,901
前年度繰越金	1,008,373	1,008,373	0
合計	1,688,373	1,780,274	91,901

支出の部		'01.4.1~'02.3.31 (単位 円)	
項目	予算額	決算額	差引額
幹事会開催費	200,000	15,750	184,250
編集委員会開催費	100,000	64,909	35,091
出版費	860,000	337,575	522,425
会報発行費	(60,000)	会報36号(10,500) 会報37号(29,925)	
学会誌発行費	(800,000)	会誌13,14合併号 (297,150)	
会員名簿作成費	100,000	25,200	74,800
事務経費	370,000	198,120	171,880
印刷費	(50,000)	(12,600)	
通信費	(170,000)	(128,180)	
文具、その他	(150,000)	(57,340)	
予備費	58,373	0	58,373
合計	1,688,373	641,554	1,046,819

次年度への繰越金
1,780,274円-641,554円=1,138,720円

〈会員著書紹介〉

ホスピタル・ウィズ・ア・ハート
女性のための女性による病院の物語
バージニア・G・ドラックマン著
依田和美編 稲田依久監訳
明石書店 二八〇〇円(税別)
アメリカ最初の教育・訓練を受けた看護婦を養成した、ニューイングランド婦人小児病院の盛衰を、豊富な資料を駆使し、社会的視点から迫る。

編集後記

第一六回大会は、現代看護の源泉の探訪と題し山形の地に相応しいテーマであった。開催地の霞城公園には山形市郷土資料館もあり、歴史を省察する格好の場。ナインゲールと戦後看護改革推進者オルト女史の話題に耳を傾け、二つの話題に一〇〇年の隔たりと現代に続く赤い糸の繋りを感じる。とにかくも芋煮を味わいながら日本と世界の歴史探訪を楽しめた良き日々でした。(龍)

日本看護歴史学会会報第三八号 発行責任者 藤村龍子 東海大学健康科学部 編集責任者 大石杉乃・田中幸子	事務局 〒二二八-〇八二九 神奈川県相模原市北里二二-一 北里大学看護学部 田中 幸子 TEL&FAX 〇四一七七八-九八二六
--	--